



## 子どもも大人も遊びの延長で!大好きな西公園をみんなで守るごみ拾い。

西公園プレーパークの会は、都心にある西公園で、子どもたちがいつでも行くことができ、安心して遊べる日常の遊び場づくりを行っています。開催日には、開催場所を中心に大人から子どもまで、有志がごみ拾い活動を行っています。そこで、プレーリーダーの佐々木さんと、率先してごみ拾いを続けるTさんに、ごみ拾い活動のやりがいなどを伺いました。

### 子どもの自主性も育む、気持ちのいい遊び場づくり

— ごみ拾い活動の内容を教えてください。

佐々木さん：プレーパークの開催中、誰でも「やろうかな」と思った人がごみを拾えるように、道具を準備しています。子どもと一緒に、プレーパークのまわりや公園内を歩いてごみ拾いをしています。

Tさん：僕は学校があるので、最近は公園に来る機会が少し減っちゃったんですけど、来たときは必ずごみを拾っています。一輪車の「ネコ」にごみ袋と火ばさみを入れて、ガラガラガラって公園内をずっと回って拾います。SL広場の方まで行ったこともありますし、向こうの「空(から)池」(親水庭園)の方までぐるっと行って戻って来たり。今日なんて、40分はしました。

— 大人でも大変だと感じる運動量ですね。では、そもそもごみ拾い活動を始めたきっかけは何だったのでしょうか。

佐々木さん：私たちは、子どもが安心して遊べる安全な環境づくりを大切にしています。ごみがないと気持ちよく過ごせませすし、犯罪が起きにくい環境にもつながると思ったからです。汚れている場所には、人目を避けたい人が隠れやすいという特徴があります。だからこそ、公園をいつもきれいにしたいと思っています。

また、ごみ拾いをしながら、公園にいる方々に欠かさず挨拶をするようにしています。挨拶をすると顔を覚えられるため、悪いことをしようとしている人は、よくない行動を控えるのではないかと考えているからです。

Tさん：僕は頼まれたからではなくて、自主的にごみ拾いを始めました。やっぱりきれいになった方が、赤ちゃんとかお母さんたちも安心できるだろうなっていう気持ちがあります。前に、ごみがあるところでゴキブリのような害虫が集まっているのを見ました。害虫は嫌なので、やっぱり、ごみはない方がいいと思っています。

— では、どんなときにごみ拾い活動による充実感ややりがいを感じますか。

佐々木さん：ごみ拾いをしながら西公園を歩くと、松ぼっくりや野の花、セミの抜け殻などによって、四季の移ろいに気づくことができます。観察をすると発見があるのがいいですね。それから、単なるごみ拾いではなく、公園の点検にもなっているところもいいなと思います。

Tさん：やっぱり「きれいになって気持ちいいな」って感じられることです。あと、僕が一人でやっている、小さい子が「何やってるの?」って来てくれたりするんです。そうやってどんどん子どもたちが増えて、一緒に活動できるのがいいと思います。僕の趣味は「ごみ拾い運動」なので!



プレーリーダー 佐々木 啓子さん(左)  
仙台市出身。趣味は畑での野菜づくり。

ごみ拾い活動に積極的に参加する小学3年生(取材時) Tさん(右)  
趣味はごみ拾い活動。



## 歴史や驚きの発見も楽しみの一つ

— 大変だったことや、工夫していることなどはありますか。

Tさん：ごみがいっぱいあって、なくならないことです。特にベンチの下とか、駐輪場の裏とか、人の目につかないところいっぱいごみが落ちていて、がっかりします。あと、落ち葉の下を掘ると、なぜかおつまみの袋が土に埋まって出てくるんですよ。他にも、CDみたいなのが5枚くらい落ちていたり、広場に「かすがい」みたいな鉄パイプの細いやつが落ちていたり。一番嫌なのは、火ばさみで触るときに普通だったらつぶれるのに、つぶれないで中身がまだ入っているごみや水が入っているごみです。

佐々木さん：乳幼児の親子も遊びに来るので、私たちは活動を始める前にビニールやたばこなどの危ないごみは最初に全部拾うようにしています。ときには、カラスがまちなかのごみ捨て場を荒らして、ごみを運んでくるときもあります。また、昔の戦争のときのものと思われる、溶けたガラスのかけらのようなものが土の中に残っていて、それが現れることもあります。そんなものを見つけると、150年という西公園の歴史を感じます。

工夫している点としては、プレーパークを開催していないときでも、熊手やほうきをケースに入れて出しておき、散歩中に「掃除したいな」と思った人が気軽に参加できるようにしています。特に、子どもたちには強制される「作業」ではなく、見つけることを楽しむ「遊びの一つ」になるような雰囲気をつくることを心がけています。

— 遊びの延長で誰もが参加できるしくみがいいですね。では、ごみ拾い活動で今後行っていきたいと思うことを教えてください。

佐々木さん：西公園に愛着をもってもらうきっかけにもなるごみ拾い活動や、秋の落ち葉掃き掃除活動などを続けていきたいです。

Tさん：これからもごみ拾い活動を続けて、小さい子たちにも、もっと興味をもってもらえたらうれしいです。

— 「清掃活動を始めたい」と思っている方々に、メッセージをお願いします。

Tさん：大好きな西公園を、みんなできれいにしていきましょう。



佐々木さん：身近な自然が多い西公園で、子どもたちが遊ぶ姿を見ながら、ごみ拾いなどの活動をしてみませんか？あなたの「やってみたいかも」という思いが、西公園を子どもたちが自由に遊ぶ、大人もゆったり過ごせる公園にしていく一歩になるかもしれません。誰もが通れる場所なので、たまたま通りかかった方にも、ふらっと気軽に参加してもらえたらうれしいです。

## 【西公園プレーパークの会のごみ拾いスタイル】

2009年に「仙台まち美化サポート・プログラム」に参加した西公園プレーパークの会。活動の大きな特徴は、大人が指示するのではなく、子どもたちが自主的に公園を大切に思う気持ちから清掃や遊びを展開している点にあります。ごみ拾い活動では、同会が用意した火ばさみやごみ袋などを手に、思い思いに清掃活動を行っています。大人も子どももニックネームで呼び合い、対等な関係を築きながら、誰もが安心して過ごせる公園環境を守り続けています。

